

哺乳瓶齲蝕

～哺乳瓶が原因の多発性むし歯～

1. 哺乳瓶齲蝕とは？

哺乳瓶齲蝕とは、哺乳瓶からミルクを飲みその後口腔衛生状態を清潔に保てない時に起こる典型的なむし歯のことをいいます。

哺乳瓶齲蝕は特に上の歯の頬側にむし歯が多発する典型的な様子があります(下図)。



2. 哺乳瓶齲蝕の原因

哺乳瓶齲蝕の原因はその名の通り『哺乳瓶』であり、お口の中を清潔に保つことができない時に生じます。特に、保護者が何らかの理由から乳児の機嫌を『哺乳瓶』でコントロールするような状況下でよく見られます。

例えば、上の写真のお子様は、授乳は1歳まで、哺乳瓶は2歳半まで使用。生活環境の要因としては、妹が生まれた後、母親が働いていたことを理由に祖父祖母に預けていて、祖父母が哺乳瓶で患者のご機嫌を取っていたことが大きな原因と考えられる。

3. 哺乳瓶齲蝕への対処

哺乳瓶齲蝕に対しては、むし歯治療は当然のことながら、その原因となった生活環境の改善が重要になります。小児歯科に慣れた歯科医と相談し、生活環境の改善を図ることが大切です。

詳しくは院長までご相談ください



ふたぎ歯科医院

